

彩湖に関する調査資料
(オリンピック・パラリンピック準備局ホームページに掲載されている資料の抜粋)

ボート会場整備案の比較

施設名	①	②	③	④	⑤
	長沼ボート場	潮来漕艇場 (常陸利根川)	彩湖	戸田漕艇場	海の森水上競技場
	宮城県登米市	茨城県潮来市	埼玉県戸田市	埼玉県戸田市	東京都
競技場水域の確保	・直線で2,000mのコース、ウォームアップコース、回送路の確保が可能	・直線で2,000mのコースと回送路を確保できないため、河川断面の一部掘削が必要	・直線で2,000mのコースと回送路を確保できないため、調節池の一部掘削が必要 ・調節池内に立入禁止区域(保護区、貯水池機場及び流入堤付近)がある。	・2,000mのコースの回送路の確保ができないため、多くの建築物等の移設や陸域の掘削、河川断面の一部変更が必要	・東西水路(延長3,000m、幅員200m)を活用 ・水位に干満差があるが、両端を締切ることに対応
施設敷地の確保	・コースに沿った陸地がないため、カメラレーン・自転車走行路・観客席等は、水上栈橋の設置により対応 ・アクセス道路が狭いため、拡幅工事が必要 ・諸施設・インフラ整備のため、用地買収・借受が必要 ・民地の用地買収に時間的に大きなリスクがある。	・カメラレーン・自転車走行路・観客席等は、水上栈橋の設置により対応 ・河川区域内であるため、治水上、利水上の支障が生じないものとする必要がある。 ・諸施設・インフラ整備のため、大規模な用地買収・借受が必要 ・民地の用地買収に時間的に大きなリスクがある。	・カメラレーン・自転車走行路・観客席等は、水上栈橋の設置により対応 ・河川区域内であるため、治水上、利水上の支障が生じないものとする必要がある。 ・諸施設・インフラ整備のため、大規模な用地借受が必要 ・陸域掘削箇所には野球場など市の公園施設があり、多くの利用者がいるこれらの施設を撤去する必要がある。	・諸施設・インフラ整備のため、大規模な用地買収・借受が必要 ・民地の用地買収に時間的に大きなリスクがある。	・北側の防波堤を活用して自転車走行路を設置 ・土地は、全て都有地のため、用地買収が必要ない。
選手村	・分村の整備が必要(周辺に選手村に対応したホテルがないため、新設が必要)	・分村の整備が必要	・分村の整備の必要なし	・分村の整備の必要なし	・分村の整備の必要なし
レガシー	・交通の便が悪く、周辺に大学や企業もないため後利用が困難 ・冬季は湖面が凍結するため、通年利用は不可	・治水上、利水上の支障が生じないものとする必要があり、容易に撤去できる仮設とした場合、レガシーが残らない。	・治水上、利水上の支障が生じないものとする必要があり、容易に撤去できる仮設とした場合、レガシーが残らない。	・現在も漕艇場として利用されているため、恒設施設は、レガシーとして活用可能	・隣接する海の森と連携し、都民のスポーツ・レクリエーションの拠点としての活用が見込まれる。 ・周辺施設と連携した環境学習の拠点としての活用が可能
整備主体	恒設	・都外のため、協議が必要	・都外のため、協議が必要	・都外のため、協議が必要	・都外のため、協議が必要
費用分担	仮設	・大会組織委員会	・大会組織委員会	・大会組織委員会	・大会組織委員会
その他、 (開催運営リスク、 周辺への影響等)	・オオハクチョウ・ガン等の越冬地(飛来地)のため、会場工事に懸念	・洪水期の洪水調整、農業用水源により水位変動があるため、施設の撤去・再設置等が必要になる場合がある。 ・川辺に葦区域があり、自然・鳥類保護の観点から環境健全について配慮が必要	・洪水警戒時などは、水位変動に備えて、施設の撤去・再設置等が必要になる場合がある。 ・彩湖中央にある管理橋が支障となるため、落橋させて機能を回復させる必要がある。	・工事中・大会中は、現在のボート利用を止める必要がある。 ・コース上にある戸田公園大橋が支障となるため、落橋させて機能を回復させる必要がある。	
概算整備費	351億円※ (恒設) 50億円 (仮設) 301億円 ※その他分村整備の費用が必要	388億円※ (恒設) 77億円 (仮設) 311億円 ※その他分村整備の費用が必要	558億円 (恒設) 202億円 (仮設) 356億円	1714億円 (恒設) 1690億円 (仮設) 24億円	519億円 (恒設) 491億円 (仮設) 28億円